

平成28年7月23日

労働安全コンサルタント 茨城支部
梨田 勝寿

水戸地域農業改良普及センター指導員から「秋・冬野菜の栽培講習会」が13時30分～15時10分まで行われた後で、下記のように「農業事故の実態と対策」について研修会を実施しました。

「農業事故の実態と対策」

- 1, 日時 平成28年7月22日(金)15時15分～16時
- 2, 場所 茨城県那珂市 ふれあいファーム芳野
- 3, 出席者 ・水戸地域農業改良普及センター 2名
・那珂市鴻巣地区の農家の方 18名(男性13名、女性5名)

4, 研修内容

- (1) 全国労働災害死亡者数と農作業死亡者数の推移
- (2) 日本における農業死亡者数の発生状況
- (3) 都道府県別の農業死亡者数
- (4) 茨城県における建設業と農業従事者との死亡者比較
- (5) 農業就業人口と65歳以上の割合の推移
- (6) 農作業死亡者の内訳(平成22年)
- (7) 農作業死亡者の発生状況 ①農業機械作業
- (8) " ②農業用施設作業
- (9) " ③機械・施設以外
- (10) トラクター事故の3つの特徴と対策
- (11) コンバイン事故の3つの特徴と対策
- (12) 耕耘機事故の3つの特徴と対策
- (11) 刈払機事故の3つの特徴と対策
- (12) 脚立(三脚)使用の事故と5つのポイント
- (13) 農作業事故対面調査から JA共済の事故報告書から
- (14) 農作業事故の対面調査事業からの報告



- 【注】 ①岩手大学保健管理センター 立身政信氏の「平成27年度 日本労働安全衛生コンサルタント会主催の「安全研修会」資料
②平成28年度(一社)全国農業改良普及支援協会、(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会主催の「第1回農作業災害に関する安全研修会」資料を基に説明した。

4, 「農業事故の実態と対策」研修会を終えてアンケート集約結果について

出席者20名中17名からアンケートをいただきました。

(1) 年齢層

- ①61歳～65歳(4名)
- ②66歳～70歳(5名)
- ③71歳～75歳(4名)
- ④76歳～80歳(3名)
- ⑤80歳以上(1名)

(2) 所有農業機械

- ①トラクター(12台)
- ②コンバイン(8台)
- ③耕耘機(10台)
- ④田植機(8台)
- ⑤80歳以上(1名)
- ⑥草刈機(8台)
- ⑦運搬車(1名)
- ⑧刈払機(13台)

(3) 研修会の内容

- ①大変良かった(8名)
- ②良かった(8名)
- ③まあ良かった(1名)

(4) 研修を終えてのご意見

①現在、これからの農業は機械力を無くして出来ません。安全に使うための注意を喚起する良い研修会でした。

②初めてこのような研修会を聞いて、注意することが多くありました。特に耕す土地の特長を覚えておくことが大事だと思った。

③自分も耕運機に挟まれたこともあったので、作業時は機械を正しく使うことを再確認しました。

④機械が故障(トラブル)した時に落ち着いて考えてから行動したい。

⑤メーカーは高齢化対策を考えてほしい。

⑥事故発生実態が分かった。

⑦研修時間が足りなかった。

以上